

今は昔、唐に莊子といふ人ありけり。家いみじう貧しくて、今日の食物絶えぬ。隣に監河侯といふ人ありけり。それがもとへ、今日食ふべき料の粟を乞ふ。

河侯が曰く、「今五日ありておはせよ。千両の金を得んとす。それを奉らん。いかでかやんごとなき人に、今日参るばかりの粟をば奉らん。返す返すおのが恥なるべし」といへば、

莊子の曰く、「昨日道をまかりしに、跡に呼ばふ声あり。顧りみれば人なし。ただ車の輪跡のくぼみたる所にたまりたる少水に、鮒一つふためく。何ぞの鮒にかあらんと思ひて、寄りて見れば、少しばかりの水に、いみじう大きな鮒あり。『何ぞの鮒ぞ』と問へば、鮒の曰く、『我は<sup>1</sup>河伯神の使ひに、江湖へ行くなり。それが飛びそこなひて、この溝に落ち入りたるなり。喉乾き死なんとす。我を助けよと思ひて、呼びつるなり』といふ。答へて曰く、『吾今二三日ありて、江湖もといふ所に遊びしに行かんとす。そこにもて行きて放さん』といふに、魚の曰く、『更にそれ迄え待つまじ。ただ今日一提ばかりの水をもて、喉をうるへよ』といひしかば、さてなん助けし。鮒のいひし事、我が身に知りぬ。更に今日の命、物食はずは生くべからず。<sup>2</sup>後の千の金更に益なし」とぞいひける。それより、後の千金といふ事名譽せり。

<sup>1</sup> 黄河の神様。

<sup>2</sup> 老荘思想は、物質主義（唯物）的かつ自由な生き方を重要視した。儒教のような礼を重んじては生きてはいけないという主張。また、河伯神が登場する超俗的な色彩もある。それにしても漢文にはよく長いたとえが出てきますが。